



TWS EXLETE 110M Exe Monoblock

× PORSCHE CAYENNE

足元一発で魅せきれる 鍛造モノブロックの傑作

尖鋭化が進むエグゼクティブカーの純正ホイールを、圧倒的に凌駕するクオリティであること。それがTWSエクスリートの新作に課された使命。大きく、美しく展開する新感覚メッシュこそ、その堂々たる答えだ。

写真●南井浩孝 文●須崎紀行
問●TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY TEL.0766・86・0117 www.tws-forged.com

最先端の鍛造技術が宿った 新感覚のメッシュスタイル

インポートカーとの高品位なマッチングが図られたデザインホイールを多彩に発信する鍛造ブランド「TWSエクスリート」からの最新作は、大口径22インチのモノブロックモデル。Exeのクレジットが入ったシリーズは、その名のとおり、エグゼクティブカー（高級車）をターゲットにしたもので、これまでTWSではその役目を2ピースモデルに担わしてきたが、本作は「エグゼ初の大口径モノブロック」であることが、まずはトピック。ピアスポルトを介さないプレインホイール表現は、純正からの違和感のないアップグレードという意味で取り入れやすいものであるし、さりげないオシャレを好むイマドキの気分と照らせば、必然の登場とも読める。

デザインの形態としてはメッシュに属するイメージだが、その詳細は2対のY字スポークを5つ、不等配でレイアウトした2×5スタイルとなっており、5穴ワンピースのバランスを十分に生かし、ポルトホールを逃がして中心からシャープに立ち上がる長い足を強調。さらにスポークの天面は、針葉樹のリーフのようなモチーフが印象的に浮かび上がるようポリッシュされ、いわゆる1Pメッシュとはまったく趣の違う、斬新なビジュアルが本作の大きな魅力といえる。天面のマシニングにおいても、コンケーブさせたセンターの突端まで、等高線加工と呼ばれる精緻な技術を用いて仕上げられており、

剥き出しになったフォージドの質感はまるで工芸品のよう、というより、まさに工芸品そのものの美しさ。造形とフィニッシュ、その両面で鍛造パフォーマンスの最先端が感じられる一本となっている。

22インチからの初発ということで、そのメインターゲットがSUVに向けてられていることは言うまでもないが、今、都会の景色を支配しているのもSUVとあって間違いない。そこにカスタム云々、車高云々の話を持ち込むのはちょっと野暮と思えるほど、その姿は街に馴染んでいて、ギリギリ食い込める改造要素は正直、ホイールぐらいじゃないだろうか。

そんな現実的なシーンを考えたとき、TWSエクスリート110Mエグゼ・モノブロックの在り方こそ、ちょうどよく思えてくる。品の良さ、質の高さが、ただシンプルに際立つ足もとのオシャレ。この新作が似合うのは、きっと、そういうリアルクルーズの世界だ。



←カイエンが装着するグロスブラック/カットフィニッシュの他、グロスガンメタル/カットフィニッシュを設定。オプションでフラットブラックも用意する



1.デモカーへの実装サイズは10×22+48。センターを落とし込んだコンケーブディスクが実寸以上のスケール感を演出する。21インチモデルも開発中とのこと 2.Y字スポークを2×5スタイルで展開。切削面は鍛造ならではの高級感あふれる光沢を放つ 3.根元を細らせつつ、センターキャップぎりぎりまで接近させたデザインに注目を

110M Exe Monoblock
10J×22インチ~10.5J×22インチ
¥192,000~193,000+税



af imp.
auto fashion imports